

NP0 法人 横浜港南国際交流の会
令和 8 年 通常総会議事録

1. 日時 : 令和 8 年 6 月 21 日 (日) 13 時 02 分～14 時 44 分
2. 会場 : 横浜市港南国際交流ラウンジ研修室
オンライン中継 (視聴のみで、表決や発言は不可) を行った。
3. 正会員数 : 142 名
4. 正会員出席者数 : 103 名 (内訳: 当日の出席者 19 名、事前の書面表決者 40 名、議長への委任表明者 42 名、岩松理事への委任 2 名、ZOOM 視聴者なし。)
5. 議題
 - 第 1 号議案 令和 7 年度事業報告について
 - 第 2 号議案 令和 7 年度決算報告について
 - 第 3 号議案 令和 8 年度事業計画について
 - 第 4 号議案 令和 8 年度活動予算案について
 - 第 5 号議案 任期満了に伴う役員改選案について
6. 議事経過および結果
 - (1) 13 時 02 分に司会の君嶋副理事長の開会宣言で、令和 8 年通常総会が開始した。
 - (2) 小倉理事長より以下のご挨拶があった。

「NP0 法人横浜港南国際交流の会は、来年、港南国際交流ラウンジ運営 30 周年を迎える。時代の変化に伴い国際交流の在り方は変わっても、外国人が地域で安心して暮らせるよう支援する思いは変わらない。」
 - (3) 定款第 26 条に従い、司会者は議長の立候補者がいないことを確認した後、議長に小倉理事長を推薦し、満場一致で選任された。
 - (4) 議長は、定款 27 条に従い、出席者数が正会員数の過半数であることを確認し、本総会が成立したことを報告した。
 - (5) 議長は、事務局スタッフ 西浦を書記に推薦し、満場一致で選任された。
 - (6) 議長は、定款第 30 条第 2 項に基づき、議事録署名人に君嶋副理事長と山口監事を推薦し、満場一致で選任された。
 - (7) 第 1 号議案 令和 7 年度事業報告について
小倉理事長から説明が行われた。その後、次の質疑応答が行われた。

質問 1 : 「国際交流のひろば」では新しいボランティアの獲得にあまり繋がらなかったという記述がある一方、「世界の屋台村」では若い世代のボランティア募集に繋がったとある。この結果の違いは、ボランティアの募集方法やアプローチにどのような違いがあったからなのか。

回答 1 : 「国際交流のひろば」については、新しいボランティアの獲得を目的の一つとして開催したが、開催規模や労力の割には、新規ボランティア獲得という直接的な成果には結びつきにくかった。

「世界の屋台村」については、既存のボランティアメンバーの高齢化が進み、運営負担が大きくなっているという課題があった。そこで今回は、対象を「高校生や大学生などの若い世代」に明確に限定した募集チラシを作成し、ピンポイントで呼びかけを行った。その結果、多くの学生が集まり、活躍してもらうことができた。
 - 質問 2 : ラウンジニュースのページ数減少について教えてほしい。具体的な掲載コンテ

ンツを削減してホームページに移した（デジタル移行した）のか。あるいは、記事そのものの掲載をやめて削減したのか。具体的な減少の進め方を教えてほしい。

回答 2：以前は見開き 4 ページで発行していたが、予算面の都合や記事内容の精査を行い、現在は 2 ページに縮小している。削減の進め方としては、記事そのものを完全になくしたわけではなく、これまで紙面に載せていた詳細な記事やコンテンツをホームページに掲載するように変更し、紙面からホームページへ読者を誘導（ウェブ移行）する形でページ数を減少させた。

続いて、承認を伺い、満場一致で可決承認された。（書面表決者 40 名全員賛成、議長への委任表明者 42 名、岩松理事への委任表明者 2 名）

(8) 第 2 号議案 令和 7 年度決算報告について

君嶋副理事長より説明が行われた。その後、質問、意見を伺ったが、特に出ず、続いて承認を伺ったところ、満場一致で可決承認された。（書面表決者 40 名全員賛成、議長への委任表明者 42 名、岩松理事への委任表明者 2 名）

(9) 第 3 号議案 令和 8 年度事業計画について

小倉理事長から説明が行われた。その後、次の質疑応答が行われた。

質問 3：今年の計画として、商店や団体とのつながりを作りたいとの説明があったが、現時点で具体的に進んでいる取り組みはあるのか。

回答 3：プロバスケットボールチーム 横浜エクセレンスとは、広報担当者と既に話を進めており、招待日の設定や外国につながる選手との交流機会などを検討している。また、戸塚区には国際交流ラウンジがないため、地域の学習支援教室の代表者とのつながりを活かし、共同イベントが実施できればと考えている。

続いて承認を伺ったところ、満場一致で可決承認された。（書面表決者 40 名全員賛成、議長への委任表明者 42 名、岩松理事への委任表明者 2 名）

(10) 第 4 号議案 令和 8 年度活動予算案について

君嶋副理事長より説明が行われた。その後、質問、意見を伺ったが、特に出ず、続いて事前の質問、意見に以下のとおり回答した。

質問 4：個人レッスンの交通費等の学習者負担を変えてほしい。「はっぱ」と違いすぎる。

回答 4：個人レッスンは学習者に合わせて場所と時間を設定する、日本語教室やはっぱと異なるものとして、学習者から交通費等費用をいただくことができる運用をしてきた。しかし、教室に入れず、やむなく個人レッスンを受ける学習者には理不尽な面があると思われる。全体予算に大きく関わること、日本語教室受入などを考慮して検討したい。

質問 5：予算案の表がとてもわかりにくい。委託と自主がいっしょになっているため。会員にわかりやすくしてほしい。

回答 5：令和 5 年度から委託事業が増え、共通管理費の一部を委託事業と自主事業で按分することになり、委託と自主が混在する表になった。しかし、各部・部会が自ら提案した予算を網羅できていることがわかるよう、細部を記入した表になっている。他ラウンジの例を参考に次回のまとめ方を検討していきたい。

質問 6：ラウンジガイドラインの見直しとあるが、市は開示しているか？ネットでは平成 27 年版しか検索できない。説明してほしい。

回答 6：市はガイドラインを開示する予定がないとのこと。要旨は次の通りである。ラウンジは外国人住民等と地域社会をつなぐ拠点で、必要な機能を有する。スタッフ

の心得、業務内容、施設利用の基準等を記載。研修室利用は委託事業のみ優先し、当法人の自主事業と登録団体の予約は同様とし、多文化共生に関わる非営利事業のみの利用とする。このため従来の外国語教室運用などが困難となった。

続いて承認を伺ったところ、満場一致で可決承認された。(書面表決者 40 名全員賛成、議長への委任表明者 42 名、岩松理事への委任表明者 2 名)

(11)第 5 号議案 任期満了に伴う役員改選案について

小倉理事長から説明が行われ、質問、意見を伺ったが、特に出ず、続いて承認を伺ったところ、満場一致で可決承認された。(書面表決者 40 名全員賛成、議長への委任表明者 42 名、岩松理事への委任表明者 2 名)

選任された理事と監事は以下のとおり。

理事 小倉 恵 (重任)

理事 君嶋 哲也 (重任)

理事 岩松 勝義 (重任)

理事 松田 美恵 (重任)

理事 中西 純子 (重任)

理事 邵 芳 (重任)

理事 播磨 和男 (新任)

理事 諏訪部 博道 (新任)

理事 阿部 洋美 (新任)

理事 江田 久美子 (新任)

理事 西浦 麻美 (新任)

理事 沖山 真紀 (新任)

監事 山口 さち子 (重任)

監事 米永 乃里子 (新任)

(12)上記を以って議事がすべて終了し、議長は退任した。

(13)北見賞表彰式

小倉理事長から、北見賞の説明と、第 13 回北見賞受賞者の紹介が行われ、表彰状と記念品が授与された。

受賞者 愛場明子氏、託児ボランティア(荒木留美子氏、坂下郁子氏)

(14)新任、退任役員の紹介と挨拶

前記の新任役員が、ご挨拶された。

(15)司会者から閉会が宣言され、総会は終了した。

上記の結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人において次に記名押印する。

令和 8 年 6 月 21 日

NP0 法人 横浜港南国際交流の会 通常総会

議 長 小倉 恵 印

議事録署名人 君嶋 哲也 印

議事録署名人 山口 さち子 印